



ヘルスケアエレクトロニクス研究会

第21回公開研究会

主催：ヘルスケアエレクトロニクス研究会

共催：日本繊維機械学会

大阪公立大学・医学研究科・獣医学研究科・工学研究科

◆公開研究会のご案内

エレクトロニクス実装学会ヘルスケアエレクトロニクス研究会(主査:椎木 弘(大阪公立大学))では、下記要領で公開研究会を開催しますのでご案内いたします。第21回公開研究会では、「日本発ヘルスケアベンチャーの現状と課題」と題しまして、5名の講師をお招きし、ご講演いただきます。また、全講演終了後に、技術交流会として各講師の皆様とのディスカッションの場を設けております。最新の技術トレンドを捉える機会として是非いろいろな分野の方々のご参加をお願いいたします。

開催日時 2025年8月18日(月) 13:00~17:50
(研究会終了後、現地別会場にて交流会を準備しております。)

開催方式 会場現地とオンラインのハイブリッド開催

開催場所 ①大阪公立大学I-siteなんば (先着50名様まで)

②Zoom Meeting (先着100名様まで)

※参加URL等の聴講情報は、申込受付時のメールにてご連絡致します。

13:00~13:05

オープニング 主査挨拶、本日の講演について

13:05~13:50

「医療機器研究開発を中心とするAMEDの支援制度について」

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 岩田 倫明 氏

<概要>

AMEDでは、成果を一刻も早く実用化し患者さんやご家族の元にお届けすることを目指し、特に医療機器分野については「医療機器・ヘルスケアプロジェクト」の各事業を通じて、基礎研究から実用化に至る一貫した研究開発を推進しているところである。本発表では、医療機器研究開発課で実施しているまたは実施する予定の事業について網羅的に紹介する。

13:50~14:35

「臨床現場から始めるバイオデザイン思考の医療機器開発」

東京大学 大学院工学系研究科 多川 友作 氏

<概要>

バイオデザインとは、Identify(ニーズを同定し)、Invent(研究開発を行い)、Implement(社会実装する)の工程を経て医療機器を患者に届ける方法論である。工学者である講演者が1年間にわたるバイオデザイン学を医師らとともにを行い、癒着性小腸閉塞における治療において大きな社会課題があることを同定した。本講演では、医療ニーズを基軸にした研究開発及び社会実装において、工学者の観点から重要な点について述べる。

14:35~15:20

「ヘルメット装着型発汗計測機器を用いた熱中症予防ビジネスの紹介」

カナルウォーター株式会社 小須田 司 氏

<概要>

熱中症発症者数は年々増加傾向で、特に夏の建設現場での熱中症リスク管理は大きな問題である。我々は建設現場で着用義務のあるヘルメットに着目し、ヘルメット装着型で発汗量、WBGT、心拍等が計測できるウェアラブルデバイスを開発した。それを活用した熱中症リスク管理サービスの概要を紹介し、皆様からご意見やご指摘を頂くことで、今後の事業展開のヒントとしたい。

(休憩10分)

15:30～16:15

「2種類のドップラーセンサの製品化とその起業についての課題」

Palmens株式会社 澤田 廉士 氏

<概要>

これまで色々な研究開発してきた中で、有用なマイクロエンコーダ(ドップラーセンサ)とマイクロ血流量センサが使用されないで終わることに心残りがある。ドップラーセンサは例えばセンサを組み込んだロボットの指で掴んだ物の滑りをみることができ、血流に大きく影響を及ぼす接触圧を考慮した血流量センサは高い再現性の測定には不可欠である。両センサの製品化をめざし、起業に至った経緯や課題を含め講演する。

16:15～17:00

「国産手術支援ロボット hinotori におけるロボット稼働ログ解析の活用～医工連携の取り組み～」

神戸大学 大学院医学研究科 植木 秀登 氏

<概要>

現在我々は、国産手術支援ロボットhinotoriの術中動画による手術フェーズ自動認識技術と、ロボット稼働ログ解析による手術評価手法の開発を進めている。膨大な操作ログから術者の動作特性や効率性を抽出し、客観的評価指標の確立を目指す。医工連携で得た知見を基に、将来的にはこれらの技術をロボットに実装し、リアルタイム手術支援や教育システムとして手術アウトカムの改善に貢献する計画である。

(休憩10分)

17:10～17:40 パネルディスカッション

17:40～17:45 閉会挨拶 ヘルスケアエレクトロニクス研究会

17:50～19:30 技術交流会(現地別会場)

※プログラムは変更になることがありますので、ご了承ください。

参加要項

定 員 150名(先着申込順 定員になり次第締め切ります)
現地参加 50名、オンライン(Zoom Meeting)参加 100名

参加費(消費税込み)

正会員:5,000円、学生会員:1,000円、共催団体会員:別払い、シニア会員:2,000円
名誉会員:無料、賛助会員の社員:5,000円、賛助会員(クーポン利用):無料
非会員一般:12,000円、非会員学生:2,000円、JPCA会員:5,000円

注意事項(参加方法)

- ①申込が受理されますと、**返信メールで 公開研究会への参加 URLやお支払いに関する情報**をご連絡致します。
- ②ご申請の手順に従って、参加費のお支払いをお願い致します。(お支払い方法:クレジットカード決済、コンビニ決済)
- ③請求書や振込確認後の領収書のご発行は、返信メールのマイページから出力が可能です。
- ④WEBの請求書が原紙扱いになりますので、ご了承ください。
- ⑤賛助・特別クーポンは、1枚/1口まで(複数口の場合は口数分)利用可能です。申込時にクーポン番号等の全項目を記入しないと、利用できません。※複数枚使用希望がある場合はお問い合わせください。
- ⑥参加費決済方法:クレジットカード決済かコンビニ決済をご選択いただけます。

* キャンセルポリシー

お申込み後のキャンセルはできません。

下記から参加申し込みをお願いします。

会員

賛助会員/JPCA会員

非会員

※クーポン使用の場合は「クーポン利用」をご選択ください。

問い合わせ先 一般社団法人エレクトロニクス実装学会

E-mail: opt-kennkyukai@jiep.or.jp

(メールアドレスは*を@に置き換えてください)